

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 保育の造形表現Ⅱ	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 溝口 敏美	当該科目に関する 実務経験
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・後期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ・ こどもと一緒に楽しめる造形活動を学ぶ。 [授業全体の内容の概要] ・ 様々な素材、技法を使用した作品作りをする。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・ 自身のアイデアも取り入れ、楽しみながら造形活動を行うこどもの発達段階に合わせた造形活動を展開できるようになる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] テーマ : 立体作品を作成する 1 被る① (色画用紙・糊・はさみを用いて) ※ キャラクターを決める。お面を作る 2 被る② (色画用紙・糊・はさみを用いて) ※ 帽子を作る。パーティー用の可愛い感じにする。 3 2 と 同 上 4 石に絵を描く 石の形を見据えて家や動物などを描く。 ※ 石を拾ってくる。絵具、ニスを用いる。 5 紙粘土で、指人形を作る (紙粘土・絵具・毛糸を用いて) 6 5 と 同 上 7 ～ 1 2 段ボールでドールハウス作成 (段ボール・絵具・紙粘土・色紙を用いて) 1 3 モールを使用して表現する ※ カラーモールを使用し作成 (指輪・王冠・動物など) 1 4 粘土で可愛いお弁当を作る (粘土・お弁当箱・色紙・ゴム・絵具を用いて) 1 5 各作品の鑑賞会及び意見交換会			
[使用テキスト・参考文献] 無し			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、提出物の状況及び作品の評価により期末考查点とする。 ・ 平常点 (25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。			